

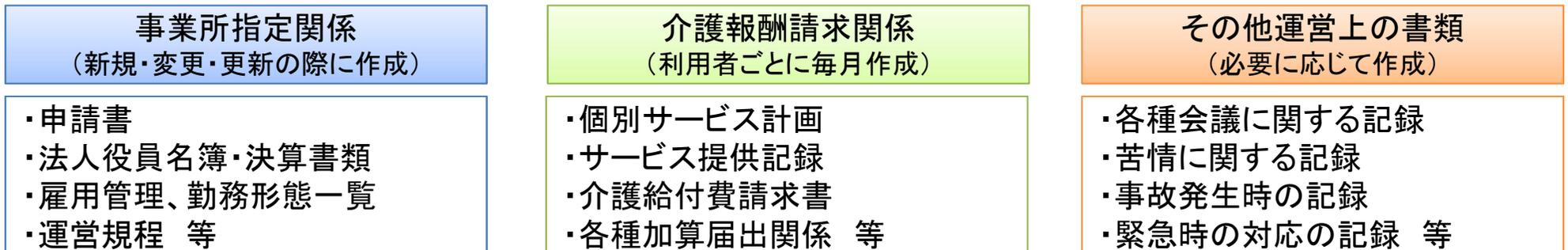
## 7. 介護事業の生産性向上について

- 地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護サービスを提供するための人材の確保、生産性向上が必要であるが、介護サービス事業所ではサービスに係る記録や書類の電子化が進んでおらず、行政側も指導監査に際し紙媒体で記録の提出を求める事例が多いなど、介護分野ではICTの活用等による業務効率化が大きな課題である。
- 今般、緊急対策の第3の矢「安心につながる社会保障」（介護離職ゼロ）に直結する対策のひとつとして、介護事業の生産性向上のため、ICTの活用や作成文書の削減・簡素化による文書量の半減など、事務負担の軽減を推進しつつ、業務プロセスの改善を図ることとした。
- このため、平成28年度概算要求において、「居宅サービス事業所における業務効率（ペーパーレス）化促進モデル事業」を計上しているが、平成27年度補正予算においては、これに先駆けて、介護サービス事業所等における一連の業務プロセスで発生している業務量について、ICTの活用の有無に応じた実態把握及び比較分析を、公募により選定する民間団体に委託して行う。
- 平成27年度及び平成28年度に行うモデル事業から得られた知見を踏まえ、市町村や事業所向けにペーパーレス化等による業務効率化に向けた手引きを策定し、お示しする予定であるのでご承知置きいただきたい。
- このように、介護事業の生産性向上に関する検討や各種取組を行っていく予定であるが、各自治体におかれても、いわゆる「e-文書法」も踏まえ、監査等において、書面による保存や押印を求めている事例について、その必要性の有無を再確認し、可能な限り業務効率化を図っていただくようお願いする。

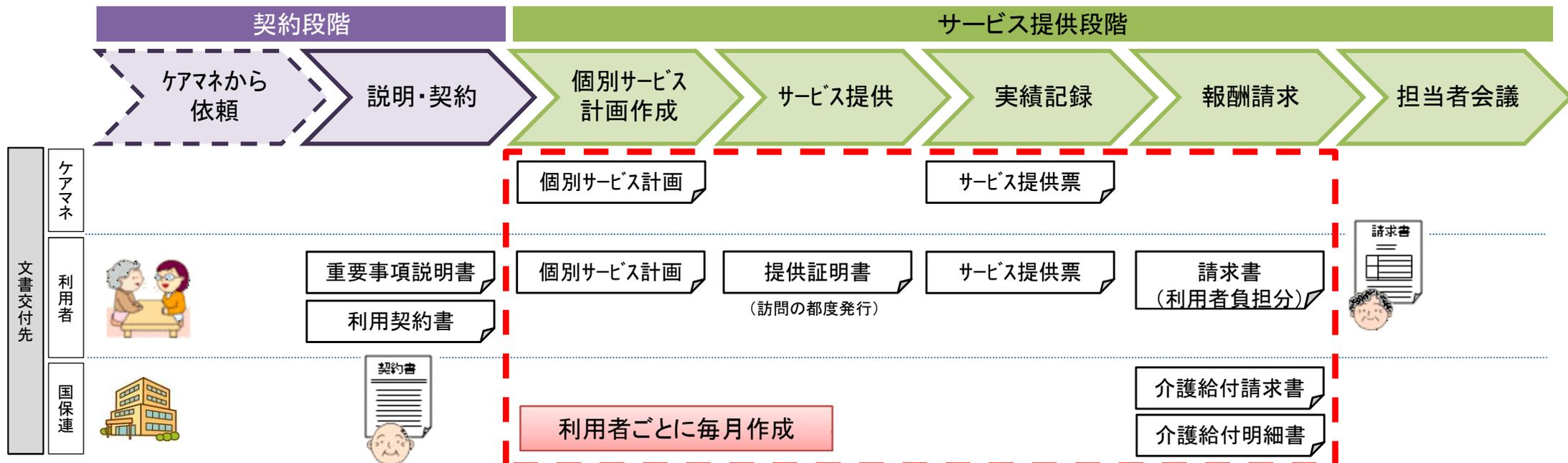
# 介護保険サービスにおける関係書類

- 介護保険制度では、事業所指定や介護報酬請求にあたって、様々な資料を作成する必要がある。
- 多くの事業所では、これらの資料の多くを書面で作成し、一定期間、保管している。

## 【介護保険サービスにおける関係書類】



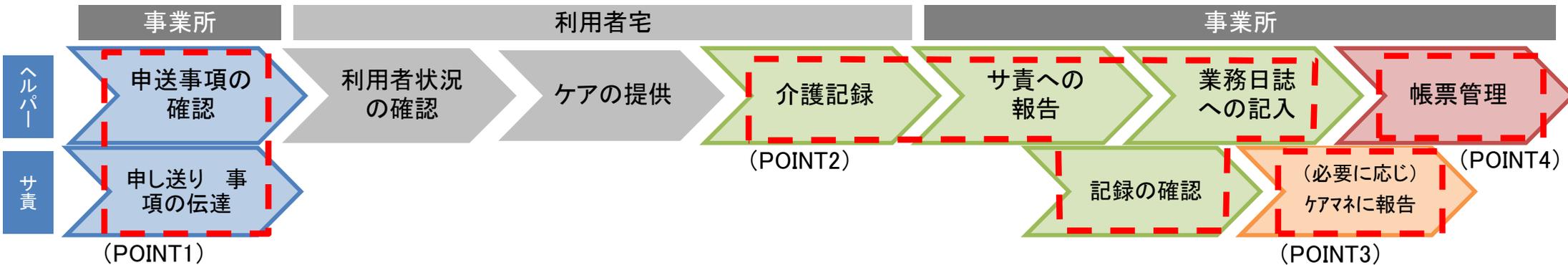
## 【サービス提供にあたって利用者ごとに作成される関係書類（イメージ）】



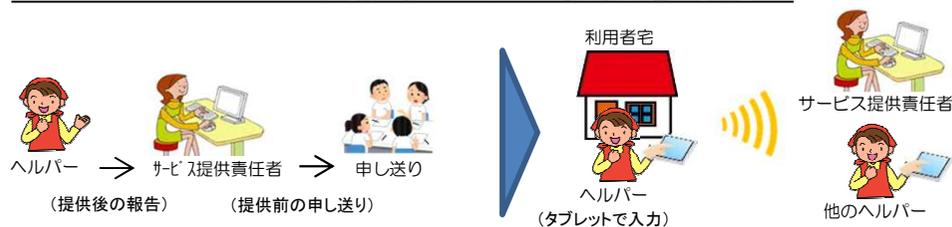
# 居宅サービスにおけるICTの活用による効率化の実現

○ 事業所や職員間の情報共有や帳票管理など、バックオフィス業務には効率化の余地がある。

(例えば、訪問介護事業所における業務の流れ)



## POINT1 サービス提供前の状況把握を可能に



- 複数の担当ヘルパーがいる場合も、遺漏なく申し送りが可能
- タブレットの活用により、前回訪問時の情報が利用者宅で確認可能

## POINT2 記録作成時間の省力化を可能に



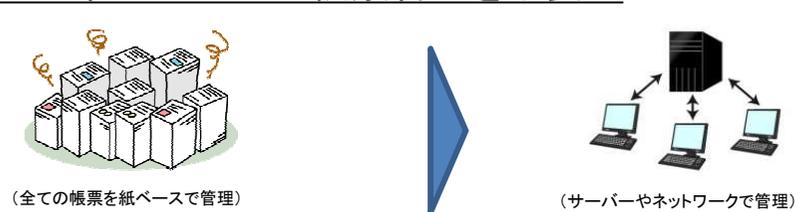
- タブレットの活用により、帰社した上での再度の記録作成が不要
- Web帳票の活用により、入力によりリアルタイムで情報共有が可能

## POINT3 リアルタイムで事業所間の情報共有を可能に



- 関係者が共通サーバーを利用することで、リアルタイムで事業者間の情報共有が可能
- サービス担当者会議のための関係者間の日程調整が不要

## POINT4 紙ベースでの帳票管理を不要に



- ネットワーク化により利用者情報管理が効率化
- 膨大な紙による帳票の保管スペースが不要

# 居宅サービス事業所における業務効率（ペーパーレス）化促進モデル事業（先行実施分）

所要額 約6百万円

## 1. 概要

居宅介護支援事業所や居宅サービス事業所等におけるICT等の活用による効果的・効率的なサービス提供や事業所間連携を促進し、生産性の向上を加速化することの一環として、ICT技術の活用によるペーパーレス化による効果や課題について分析を行う。

## 2. 事業内容

### (1) 概要

事業所等における日常業務や指定申請・介護報酬請求など、一連のプロセスにおいて発生している業務量について、ICTの活用の有無に応じた実態把握及び比較分析を行う。

### (2) ICT活用の有無による比較分析の視点（例）

- ・日常業務における記録等の管理や個別サービス計画策定から介護報酬請求までの一連のプロセス
- ・自治体の指導監査などにおける対応や提出書類
- ・事業所内外の情報連携プロセス

### (3) 実施方法

実施主体（調査研究機関）による現地調査

## 3. 事業の流れ

